

令和5年9月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,925億円（対前年同月比3.4%の増加、比率ベース：4ヵ月ぶりの増加）、輸入総額は1,096億円（同11.6%の減少、6ヵ月連続の減少）であった。差引額は829億円（同33.3%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「加熱用・冷却用機器」、「科学光学機器」などは減少したものの、「自動車の部分品」、「原動機」、「船舶類」などが増加した。

輸入は「二輪自動車類」、「科学光学機器」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「金属鉱及びくず」、「大豆」などは減少した。

地域別では、輸出は「アメリカ」、「EU」が増加、「アジア」は減少した。輸入は「アジア」、「アメリカ」、「EU」が減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,925億円	+3.4%	1,096億円	▲11.6%	829億円	+33.3%
	4ヵ月ぶりの増加		6ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	206億円	+55.5%	輸入	増加品目	(1) 二輪自動車類	29億円	+51.7%
		(2) 原動機	256億円	+22.6%			(2) 科学光学機器	16億円	+87.2%
		(3) 船舶類	25億円	5.0倍			(3) 電気回路等の機器	18億円	+49.7%
	減少品目	(1) 加熱用・冷却用機器	49億円	▲38.5%		減少品目	(1) 液化天然ガス	91億円	▲37.0%
		(2) 科学光学機器	159億円	▲15.1%			(2) 金属鉱及びくず	4億円	▲90.7%
		(3) 電気計測機器	27億円	▲35.7%			(3) 大豆	6百万円	▲99.8%
主要地域増減	アメリカ、EUが増加、アジアは減少				主要地域増減	アジア、アメリカ、EUが減少			

（参考）ドルレートは、146.44円（前年同月比4.7%、6.63円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したものの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	9億円	+66.8%	25億円	▲56.1%	▲16億円	▲68.8%
	2ヵ月ぶりの増加		4ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 金属鉱及びくず	207百万円	全増	輸入	増加品目	(1) パルプ	110百万円	+30.7%
		(2) 精油・香料及び化粧品類	196百万円	2.2倍			(2) 有機化合物	455百万円	+5.9%
		(3) 有機化合物	34百万円	全増			(3) 無機化合物	93百万円	+15.7%
	減少品目	(1) 電気計測機器	49百万円	▲41.5%		減少品目	(1) 石炭	—	全減
		(2) 糖類及び同調製品・はちみつ	9百万円	▲67.9%			(2) とうもろこし	588百万円	▲73.3%
		(3) ゴム製品	1百万円	▲58.0%			(3) 金属製品	—	全減
主要地域増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少			主要地域増減	アジア、EU、アメリカが減少				

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	374億円	+33.5%	19億円	▲38.4%	356億円	+42.2%
	12ヵ月連続の増加		3ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	222億円	+71.3%	輸入	増加品目	(1) 木製建具及び建築用木工品	139百万円	+65.7%
		(2) 自動車の部分品	42億円	+23.4%			(2) お茶	14百万円	+54.6%
		(3) 楽器	32億円	+9.1%			(3) 精油・香料及び化粧品類	9百万円	+70.1%
	減少品目	(1) 無機化合物	634百万円	▲60.5%		減少品目	(1) 染料・なめし剤及び着色剤	—	全減
		(2) 運動用具	20百万円	▲97.0%			(2) 鉄鋼	877百万円	▲22.7%
		(3) 二輪自動車類	662百万円	▲28.9%			(3) 有機化合物	69百万円	▲76.1%
主要地域増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少			主要地域増減	EU、アジア、アメリカが減少				

4. 静岡空港

輸出入実績なし